

マルキン食品株式会社

元気が大好き

熊本県で納豆、豆腐、こんにやく等を製造するマルキン食品株式会社は、食卓に体に良く・美味しい、身近な食材を提供する「愛ある味のパートナー」という企業使命感を掲げ、「食」を通じた健康づくりに貢献しています。

2020年に創業105周年を迎える同社は、日本の「食」に携わる企業として、熊本から世界へ健康を届け、社会貢献を達成できる組織に成長できるよう取り組んでいます。

「もったいない」を「元気」に変える



マルキン食品株式会社の各工場では、様々な事情から、製造工程での食品ロスが発生します。同社は、大正時代から食に携わってきた企業の責任として、食品ロスの削減を通じて、「もったいない」を地域の人と農業の「元気」に変える取り組みを行っています。

1 食品ロスの削減に向けて

成形不良、パッケージの印字不良、エアの混入による見栄えの低下等、味や品質には問題がないものの、市場に流通出来ない規格外品が少なからず発生します。

同社では、「もったいない」を少しでも減らしたいという思いと、福祉活動への理解から、月に一度、規格外品を熊本市近隣の子ども食堂へ提供するとともに、社員がボランティアスタッフとして調理準備や配膳の手伝いを行っています。



▲ 子ども食堂の様子



▲ 規格外品の納豆

また、こんにやくを始めとする常温での保存が可能なものについては、フードバンク活動団体を通じて、熊本県内の施設や団体等に配布されています。

この他にも、充填豆腐の製造行程では、豆乳が空気に触れる時間を極力減らすことで、賞味期限の延長を可能とし、食卓における最終的な食品ロスの削減にも貢献しています。

対応するSDGs目標



2 資源循環で地域農業を元気に

製造工程で発生する副産物については、廃棄物として焼却処理せず、熊本県畜産農業組合連合会や地域農業者と連携し、積極的に農業利用を行うことで、資源循環システムの構築に取り組んでいます。

▼ おからの引き渡し風景



納豆製造の「大豆の煮汁」、豆腐製造の「おから」については、乳酸発酵※1させることで飼料に加工しています。また、とろろん製造の煮出した後に残る「テングサ」については、肥料として活用されています。

対応するSDGs目標



※1：おからは、そのままでは腐りやすいが、乳酸発酵させることで1ヶ月程度の長期保存が可能となり、栄養価も向上する。

変化する時代と生活に
沿った社会貢献を



大正時代に、製粉工場として小麦粉やきな粉等の製造から始まった同社の事業は、時代とともに変化し、多様化してきました。

それは、社会貢献でも同様で、変化するライフスタイルに対応しながら取り組みを広げています。

3 幅広い年代に向けた食育を

同社の食育活動は、平成28年に広島県の営業所に在席していた3名の男性職員が、自社商品のPRを兼ねた「親子とうふ作り体験」を開催したことをきっかけに始まりました。

お父さんの目線で始まった食育活動は、同社の管理栄養士チーム（通称MKRD※2）に引き継がれ、現在は「世の中に、元気と健康をお届けする」をテーマに、自社商品を使用したレシピの開発、地域の小中学校への出前授業、料理教室の開催等、様々な年齢層をターゲットにした活動を行っています。



▲ レシピの開発風景

小中学校への出前授業では、原料から製品ができるまでの工程や、大豆の栄養価について、クイズを交えながら楽しく学べるよう工夫することで、子ども達に納豆や豆腐、ひいては日本食に興味を持ってもらえるようにしています。

※2: MaruKin Registered Dietitian team の略。開発したレシピは、Instagram (<https://www.instagram.com/marukinfoods/>) で公開中。

4 人と地域を元気にする商品開発



▼ やせ麺「野菜ちゃんぽん風」

同社は「食べて元気・健康になる」というライフスタイルを提案する存在でありたいとの思いから、糖質やカロリーを抑えたい等、生活を改善したい人でも安心して食べられる「やせ麺※3」シリーズや、「わらびもち風こんにやく」シリーズを開発しました。

主力商品である納豆についても、数種類のひきわり納豆を製造しています。細かく砕いたひきわり納豆は、高齢者にも安全で、乳幼児の離乳食としても好評です。

また、平成22年から販売している「元気とうふ」熊本県嘉島町産ふくゆたかとうふは、熊本県産の原料（嘉島町産大豆・天草産にがり・阿蘇の水）にこだわって開発された商品で、人、そして地域の産業を元気にしたいという思いが込められています。

※3: グルテンフリーなこんにやく麺。商品名は『体に「や」さしい「せ」いかつ』に由来しており、平成30年の販売以降、現在では4種類の商品を販売。

対応するSDGs目標



現在、同社は世界に通用する商品づくりに挑戦するため、海外のイベントに出展する等の取組を行っています。

同社の商品を通じて、海外に日本の食文化や健康的なライフスタイルを提案していくことで、世界レベルで深刻化している生活習慣病や、肥満の改善に貢献できるのではないかと考えています。



▲ マスコットキャラクターの「元気マン」

マルキン食品(株)のSDGsに対する取組



※ 紙面の都合で紹介できなかったトピックス
 ・ 容器包装（プラスチック）減量化の取組
 ・ 省エネ及び温暖化対策の取組
 ・ 社員一人ひとりに合った働き方改革の取組

等

企業概要

- 【社名】 マルキン食品株式会社
- 【創業】 大正4年(1915年)
- 【事業内容】 納豆、豆腐、こんにやく、大豆加工品等の製造・販売
- 【住所】 熊本県熊本市中央区世安町380
- 【電話番号】 096-325-3232(代表)
- 【HP】 <https://www.marukinfoods.co.jp/>